

第2回農林業センサス研究会

今後の農林業センサスのあり方等について

ー地域調査を中心にー

2012年11月5日

明治大学農学部 橋口卓也

はじめに

- ・これまでのセンサス活用経験
- ・センサス地域調査データの重要性
 - ・ 農林業における地域コミュニティの重要性
 - ・ 地域資源管理機能
 - ・ 生産補完機能
 - ・ 生活相互扶助機能
 - 個々の経営体にとっても、地域資源の存在と良好な管理状態が不可欠、また上記の3つは単純に切り離すことができるものでもない

1. 調査対象と項目の連続性の確保

(1) 調査対象の連続性の確保

- ・ 継続的調査の実施が担保されているセンサスの最も重要な点は連続性。よって、できるかぎりの調査対象の連続性を望む（必ずしも調査体系の連続性でなくても→後述）

(これまでの経過)

- ・ 1995年：農村地域環境総合調査（旧市区町村カード）
- ・ 2005年：農業集落定義の大幅な変更
- ・ 2005年：農村集落調査（センサス付帯調査）＝標本抽出調査

(2) 調査項目の連続性の確保

- ・ 仮に調査対象の連続性確保が難しくても、調査項目の連続性があれば、経年変化を観測できる

(調査項目の変化の例)

- ・ 2005年～2010年：地域資源の状況

2. 旧市区町村レベルでの調査の実施

(1) 調査体系について

- ・ 現行の（新）市区町村調査と農業集落調査に加え、1995 年の農村地域環境総合調査（「旧市区町村カード」）に相当するようなものの実施を望む（地域資源の把握の上で重要）
 - ・ 2005 年の農業集落調査において「地域資源を活用した施設」9 の施設の数十年間利用者数を調査
 - ⇒ 旧市区町村レベルで把握するにふさわしい内容。他にも廃校施設利用、直売所、自然エネルギー活用の可能性、無住化危惧集落（「限界集落」）の把握など
 - 地域資源の特性、影響の及ぶ範囲と、どのような調査体系がふさわしいかについて吟味が必要

(2) 対応した調査項目の再編

- ・ 調査区分に適した調査項目の配置
 - ・ 法制度上定まっているものや、集落内部の状況を把握しなくとも外形的に判断できる項目は、市区町村調査や、旧市区町村レベルの把握が適切（職員調査の必要性）。
 - （調査項目の例）
 - ・ 立地条件（法指定状況、DID までの所要時間、等に加え、近年の「限界集落」に関する議論等との関係では、行き止まり集落か否か等）
 - ・ 農業集落調査独自には、集落の紐帯や活動状況などに限定することもできるのではないかと。そのことによって調査項目が増やせればなお望ましい（集落構造の把握）
 - ただし、集落機能（資源管理機能、生産補完機能、生活扶助機能）の地域性への配慮も必要
 - 必ずしも集落が資源管理機能、生産補完機能の単位と一致しない場合もありうる
 - ・ 政策効果の検討に資するものの把握を望む（直接的に政策効果を測ろうというものではなく、政策対象の集落・地域か否か、実施しているのか否か）
 - （調査内容の例）
 - ・ 集落や地域を対象とした政策・制度（例えば、中山間地域等直接支払制度、農地・水保全管理支払交付金、森林整備地域活動支援交付金制度）の対象となる集落か否か、政策・制度を実施しているか否か、など

3. 公表データの表章のあり方、公表方法

(1) 統計表章のあり方の改善

- ・農家戸数別、農家率別などの多様な集計結果の公表を望む

(現行の内容)

- ・2010 年：全国農業地域・都道府県別、農業地域類型区分、DID までの所要時間別の 3 つの表章

(2) 経営体調査と地域調査、他の農林統計との接続及び公表方法

- ・2005 年センサス農林業センサス地域データベースの発想の重要性

→しかし、現在は公開が終了している

- ・集落営農実態調査との接続

→接続は可能だが、公表は限定的

(3) 農業地域類型区分別表章の農林業経営体調査とのずれの解消

- ・農業集落調査では、2010 年センサス結果について、2005 年時対応の農業地域類型区分によって公表。一方、農林業経営体調査は未公表

(4) 他省庁統計との連携の可能性

- ・GIS の活用

→集落重心（地理重心ではなく、人口重心）もしくは集落中心地（公民館施設など）の地理座標情報付与など

- ・メッシュデータ↔農業集落データの変換が可能になれば、データ活用の可能性が増加

→集落界ポリゴンとメッシュのオーバーレイ及びデータ按分手法の確立

→山間部では広大な森林を擁し、居住領域は集落範囲のごく一部

→経営体調査客体の座標軸確定あるいは、国土地理院地形図データの建物、あるいは土地利用のレイヤ利用などの可能性

おわりに

(参考)

農林水産省

1995年農業センサス農村地域環境総合調査 旧市区町村カード A票

[illegible]

農林水産省

基本指標	都道府県	政 号	市区町村	政 号	旧市区町村	政 号	農業地域類型	市町村	旧市区町村
名 称							Ⅱ-Ⅰ-Ⅱ		

注：「高速道路のインターチェンジまでの所要時間」（表側番号9）については、離島に所在する旧市区町村及び沖縄県を調査の対象から除外した。

注： 1 表側番号12～17については、1995年農業センサス農家調査結果による。
2 経営耕地の田の「過去1年間に稲以外を作付けた面積」の内訳（表側番号16）は、「作付農家数」である。

1995年農業センサス農村地域環境総合調査 旧市区町村カード C票

24	医療施設の数 (※6)★6		文化・コミュニティ施設数 (施設)★7						スポーツ施設数 (施設)★7						注：「医療施設の数(★6)」、「文化・コミュニティ施設数(★7)」、「スポーツ施設数(★7)」及び「従業員規模別事業所数(★8)」については、特に農山村地域の生活環境を表す指標として、他省の統計調査を旧市区町村の単位に組み替え集計し、表示したものである。 なお、農業地域類型の都市的地域に該当した旧市区町村については、表示(集計)していないので、利用に当たっては留意されたい。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	病 院	一 般 診療所	公 民 館	図 書 館	博 物 館	文化会館	青少年教育施設	婦 人 教育施設	野球場、フットボール場	運動広場	体 育 館	テニス場	ゲートボール場、クレーンボール場	キャンプ場																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1995年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													